

平成 2 2 年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第 2 回）議事録

1 日 時 平成 2 2 年 7 月 2 2 日（火）1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0

2 場 所 新見市役所 3 階第 1 委員会室

3 出席者

（ 1 ）評価委員会 新中委員長、田中委員、宮田委員

（ 2 ）事 務 局 中山参事、吉川主任

4 議 事

（ 1 ）平成 2 1 年度実績報告書及び財務諸表の評価について

別紙会議次第のとおり、平成 2 1 年度実績報告書及び財務諸表の評価について、審査を行った。各委員の評価した内容を発表し、委員会としての意見をまとめた。詳細は以下の議事要旨のとおり。

なお、項目別評価については、各委員の評価内容に関する部分を省略します。

委員発言要旨	取りまとめ結果
<p>[項目別評価]</p> <p>外国語教育の英語に力を入れている。生きた英語を体験できることは良いことである。</p> <p>幼児教育学科の子育て支援については、今後も活発にしてもらいたい。</p> <p>地域看護学専攻科は、保健師の 4 年連続 1 0 0 % の合格率は、評価できる。</p> <p>教育の質の改善及び向上では、教員の苦勞を痛感する。よく頑張った。</p> <p>実施体制の個人研究費は、独立行政法人から厳正な審査ができるようになった。</p> <p>研究の質の向上は、今後も努力してもらいたい。</p> <p>学生の確保の基本方針では、独自の試験本題を作成し実施したことを評価したい。自己推薦も頑張っている。</p> <p>大学の広報は、新たな広報媒体の取り組みを評価する。</p>	<p>[項目別評価]</p> <p>どの大学でもやっているのので、意見なしとする。</p> <p>保護者との交流は、市民の関心を集めた。また、多くの知見を得ている。今後も期待する。</p> <p>生徒の努力と教員の指導等の成果であり、今後も維持するよう期待したい。特に意見なしとする。</p> <p>特に意見なしとする。</p> <p>他大学の調査・研究により、今後も向上に努力していただきたい。</p> <p>4 年生大学初年度入試において、独自試験の作成と実施を評価する。</p> <p>広報を頑張っている。</p>

委員発言要旨	取りまとめ結果
<p>[項目別評価]</p> <p>生活支援で、学生の悩み事やプライバシーの事など教員に相談できる体制は、良いことである。</p> <p>進路支援は、春の状況から見ると頑張った。</p> <p>教育研究成果の地域還元は、よくやっている。</p> <p>地域との連携推進では、同窓会を11支部作っているのは評価する。ただし、支部の実態はどうか。</p> <p>国際交流及び国際貢献の推進は、今後の課題である。</p> <p>業務運営の効率化のプロパー職員の採用については、市との人事交流は必要と考える。慎重に考えた方が良いのではないか。</p> <p>職員の意識改革は、経費節減に努力している。今後も効率的な管理運営をしてもらいたい。</p> <p>自己点検及び自己評価の実施の剰余金は、前年度同様に翌年度以降の財源として、有効に活用してもらいたい。</p> <p>[財務状況]</p> <p>剰余金（61,710,347円）の処理をどうするか。</p> <p>監査報告書が提出されているため、評価するのは難しい。</p> <p>[全体評価]</p> <p>項目別評価並びに財務状況の意見を取りまとめ集約したので、全体評価の内容を委員長に一任する。</p>	<p>[項目別評価]</p> <p>特に意見なしとする。</p> <p>就職希望者の就職率100%は、今後も維持すること。</p> <p>子育て、看護、介護の専門知識を今後も地域に還元されたい。</p> <p>特に意見なしとする。</p> <p>今後の課題のため、意見なしとする。</p> <p>市との人事交流は、必要でありプロパー職員の採用は、市と協議し慎重に対処されたい。</p> <p>管理的経費の節約等、効率的な管理運営に努めてもらうよう今後も期待する。</p> <p>人件費分を除く剰余金は、積立金とし翌年度以降の財源として、有効に活用してもらいたい。</p> <p>[財務状況]</p> <p>人件費分を除く剰余金は、積立金とし翌年度以降の財源として、有効に活用してもらいたい。</p> <p>会計的な観点からは、評価できないので、一般的な評価をする。</p> <p>[全体評価]</p> <p>委員長に一任することで、全委員了承される。</p>